

科目区分	専門分野	科目名	共通基本技術Ⅲ（看護の思考）	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第2学期
担当講師	竹本 綾美			実務経験	有
科目目標	<p>1. 看護概念を実践に適用するためのプロセスを学び、科学的思考に基づいた看護の思考の基礎的知識・技術を学ぶ。</p> <p>2. 看護としての問題解決思考を理解できる。</p>				
授業計画	<p>第1回 看護思考プロセスの概要（講義）</p> <p>1. 看護思考プロセスとは何か 2. 看護思考プロセスの構成要素</p> <p>3. 看護思考プロセスの構成要素の相互作用</p> <p>4. 看護思考プロセスの基盤となる考え方</p> <p>第2回 情報整理の概要（講義）</p> <p>1. 情報収集とは 2. 情報収集の方法</p> <p>アセスメントの枠組み（講義）</p> <p>1. アセスメントとは何か 2. 情報の整理・解釈・分析</p> <p>3. ゴードンの機能的健康パターンとクラスタリング 4. 事例提示</p> <p>第3回 事例患者をイメージする（演習） 必要な情報を考える</p> <p>第4～8回 情報の整理とアセスメントの実際（講義・演習）</p> <p>第9回 看護問題の明確化（看護診断）の概要（講義）</p> <p>1. 看護診断とは何か 2. 看護診断の分類（NANDA） 3. 看護診断の種類</p> <p>4. 看護問題と共同（医療）問題 5. フォーカスアセスメント</p> <p>第10回 看護問題の明確化（看護診断）の実際（演習）</p> <p>看護問題の明確化（看護診断）、フォーカスアセスメント</p> <p>第11回 看護問題の統合・関連図（講義）</p> <p>1. 看護問題の統合とは 2. 関連図とは 3. 関連図の記述のルール</p> <p>第12回 看護計画の概要（講義）</p> <p>1. 看護計画とは 2. 期待される成果の明確化（RUMBAの法則）</p> <p>3. 看護計画の立案</p> <p>第13回 看護計画立案の実際（演習）</p> <p>第14回 看護経過記録の実際（講義）</p> <p>1. 看護経過記録の意義 2. 実施後評価の意義・基準・方法</p> <p>3. 看護経過記録の記述について（SOAP法）</p> <p>第15回 まとめ、終了試験</p>				
評価方法	演習課題の取り組み状況、成果物（90%）、演習への参加状況（10%）で総合的に評価				
テキスト	<p>系統看護学講座 基礎看護学 [2]、基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 スーヴェルヒロカワ</p> <p>NANDA 看護診断 定義と分類 2024-2026 医学書院</p> <p>患者さんの情報収集ガイドブック メヂカルフレンド社</p> <p>参考図書 江川隆子のかみくだき看護診断 日総研</p>				
講師からのメッセージ	<p>形態と機能、疾病治療論、看護理論の既習学習を十分に活用して学ぶ。</p> <p>看護の思考プロセスについて、事例を展開しながらそのプロセスを体験的に学習する。</p> <p>国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				